



自分たちの力で、 住みよいまちを守っていく

— 中静さん

市長 プレオープンの日にお邪魔しました。メニューのどれも本当においしかった。カレーライスも中辛と甘口の2種類あって、子どものこともよく考えているなど思いました。

市長 子どもからお年寄りまでみんなが気軽に交流できる拠点だからこそ、コミセンを活用しています。食べに来る人だけでなく、作

市長 子育てに、サークル活動に大奮闘ですね！

山岸 大変です(笑)。でも、子

どもたちやママさんたちの笑顔で私も元気をもらっています。

木村 若者の視点から寺泊地域のまちづくりをしようと「てらどまり若者会議〜波音〜」を立ち上げました。コミセンも使いながら、20人ほどで活動しています。寺泊は「魚の市場通り」で有名な観光地です。寺泊の名前のおり歴史的な寺院や文化財も多く、海も山もあり、自然はすごく豊か。地域活動を通して新たな魅力の発見もありました。

観光客だけでなく、住民も楽しめる地域を自分たちの手でつくりていきたいです。

市長 私も地域の行事に参加させてもらい、みなさんのお話を聞くたびに、住民同士が支え合い、自分たちで地域をつくりたいという地域共生の心が、しっかり息づいていると感じます。

コミュニティセンター が地域活動の拠点に

市長 みなさんはコミセンを中心に活動しているんですね。市内にはコミセンが37カ所あって、年間約70万人が利用しています。それだけの人が毎年活動しているの

は、長岡の大きな特徴だと思います。

中静 希望が丘では、コミセンまつりに約3千人が参加します。小学校が道路を挟んで目の前にあるので、まつりの日は学校行事も合わせてもらい、自由に行き来できるようにしています。

木村 寺泊はコミセンが内陸部にあるので、その立地はうらやましい！

中静 昨年7月にはコミセンに「安全安心ステーション」を開設しました。警察や市からの防犯・交通安全情報の集約と地域への周知、住民による子どもの登下校の見守り(写真⑤)、子どもの目線を取り入れた防犯マップの作成をしています。今は、小学校近くの道路を時速30km以下に制限する「ゾーン30」という取り組みも進めています。自分たちの力で住みよいまちを守っていく体制をつくります。

市長 地域の安全・安心を守る、素晴らしい活動です。いざという時にこうした地域のつながりが頼りになるんですね。

小林 私はコミセンがもっとみんなが集まれる場になればいいなと思います、昨年11月に「まちなかコミュニティ食堂」を立ち上げました



▲表町地区のまちなかコミュニティ食堂のプレオープン (写真④)



▲希望が丘小学校の児童の下校を見守る住民のパトロール活動 (写真⑤)

世代を超えた支え合い、 育み合いができたらしい

— 山岸さん

市長 プレオープンの日にお邪魔しました。メニューのどれも本当においしかった。カレーライスも中辛と甘口の2種類あって、子どものこともよく考えているなど思いました。

小林 子どもからお年寄りまでみんなが気軽に交流できる拠点だからこそ、コミセンを活用しています。食べに来る人だけでなく、作

る私たちも、食堂に関わるみんながつながりを持てる。お母さんの悩みなんかも話して、おしゃべりするだけで気持ちも楽になる。まちなかコミュニティ食堂は、地域に支えられて運営する、地域の絆を深める場所なんです。

市長 子育て支援でもあるんですね。

山岸 私も、小国でそう良かったお話があれば、お手伝いしたいです。若い人や子どもから、小国で子育てをしたいと思ってもらえるように。

市長 市は補助金の交付や情報交換の場を設けて、子ども食堂やみんな食堂の立ち上げを支援しています。今年も市内でいくつか開設される予定です。地域の活性化のきっかけとして、ぜひ、多くの方から運営に手を挙げていただきたいと思っています。

まちの将来を担う 若者の発想と行動力

市長 まちの将来を見据えると、若者が果たす役割はとても大きいと考えています。

市は次期長期版総合戦略を策定中で、今年4月からスタートさせます。まちづくりの主役に「若者」を据え、若者が地元に着したり、

まちなかコミュニティ食堂は、 地域の絆を深める場所

— 小林さん



U・Iターンしたりするような魅力的なまちづくりを進めています。生まれも育ちも小国で、地域の担い手の一人である山岸さんは、どんな思いで活動されているのですか。

山岸 「おぐにママさんの会」(7ページ写真⑤)の発案はママたちや母子保健推進員で、日々の活動の中で講師を呼んで勉強したり、ヨガやお菓子作りをしたりし

ます。私もこの場があったおかげで、日ごろ言えない愚痴も言えました。

自分たちの子どもが小国を大好きになって、小国で子育てしたいと思ってもらうにはどうしたらいいかを日々、考えています。

今、コミセンで寺子屋企画を長期の休みにやらせてもらっています。塾がない小国でも学ぶ機会があるという安心感が保護者に浸透